

財団法人ロマン・ロラン研究所  
設立50周年記念 特別講演会

「コロナ共存社会における文学の役割と分人主義」

講演者： 平野啓一郎氏 (作家)

**日 時：2023年6月10日 (土) 午後2時～4時**

**会 場：京都大学時計台 百周年記念館 国際交流ホールⅢ  
〒606-8317 京都府京都市左京区吉田本町 36**

**定 員：80名 (先着順) 参加費：無 料**

財団法人ロマン・ロラン研究所では、設立50周年記念企画として、作家の平野啓一郎氏をお招きし、上記講演会を開催します。

コロナにより社会の様々な矛盾が浮き彫りになり、人と人とのコミュニケーションが取りづらくなった現代において、人間性を確保するために文学がどのような役割を果たすことができるのか、またAIやメタバース等の最新技術により変容していく社会の中で、同氏の提唱する「分人主義」がどのような意義を有するのかについて語って頂く予定です。

定員を超えた場合は、入場をお断りする場合があります。(その場合、賛助会員を優先します。)

問い合わせ先：財団法人ロマン・ロラン研究所 (075-771-3281)

<平野啓一郎氏 プロフィール>

1975年愛知県蒲郡市生。北九州市出身。京都大学法学部卒。

1999年在学中に、『日蝕』により第120回芥川賞を受賞。

著書に、小説『葬送』、『滴り落ちる時計たちの波紋』、『決壊』、『ドーン』、『空白を満たしなさい』、『透明な迷宮』、『マチネの終わりに』、『ある男』、『本心』等、エッセイに『本の読み方 スロー・リーディングの実践』、『小説の読み方』、『私とは何か 「個人」から「分人」へ』、『「生命力」の行方～変わりゆく世界と分人主義』、『考える葦』、『「カッコいい」とは何か』等。

<一般財団法人ロマン・ロラン研究所について>

一般財団法人ロマン・ロラン研究所の前身である「ロマン・ロラン友の会」は、ロマン・ロランの思想、芸術、人格への共感に基づき、ロランの理想精神である汎ユマニズムの理解と普及に関する活動を目的とし、敗戦4年目の1949年6月に設立されました。

「友の会」の順調な拡大を受け、1970年12月、「友の会」を発展的に継承する形で、「財団法人ロマン・ロラン研究所」が設立されました。初代理事長には、ロマン・ロランの著作の日本への紹介に尽力した宮本正清氏が就任しています。

以来当研究所は、ロマン・ロランの提唱する、人権と自由の擁護、諸国民相互の尊敬と協力の涵養を目的とし、人類全体の偉大な共有財産として、ロマン・ロランの思想の研究と紹介に努めてきております。

毎月の読書会・研究会のほか、機関紙「ユニテ」の発行や、定期的に講演会や音楽会を開催しております。ホームページは次のとおりです。皆様の参加をお待ちしております。

<https://institut-romain-rolland.jp/>